

令和6年10月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和6年10月23日（水） 午後1時30分～午後1時49分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	織田 恭淳
委員	前田 康一（教育長職務代理者）
委員	松宮 誠也
委員	兼子 貴絵
委員	前川 加奈子
委員	押谷 喜美子

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

教育部長	内藤 正晴
次長	山岡 万裕
次長	高山 義雄
管理監兼幼児課長	為永 智子
教育総務課長	藤田 いずみ
教育指導課長	馬淵 康至
すこやか教育推進課長	森 靖
教育センター所長	杉本 義明
教育総務課係長	川瀬 奈津代
教育総務課主査	五十嵐 亮平

6. 傍聴者

なし

Ⅱ. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第 1 会議録署名委員指名

日程第 2 会議録の承認

日程第 3 教育長の報告

日程第 4 議案審議

案件なし

日程第 5 協議・報告事項

(1) 令和 6 年長浜市議会令和 6 年 9 月定例月議会代表質問及び一般質問の答弁要旨
について

日程第 6 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

兼子委員、前川委員

3. 会議録の承認

9 月定例会

特に指摘事項はなく、9 月定例会の会議録は承認された。

4. 教育長の報告

■教育長：

3 点ご報告します。

1 点目です。データ社会に資する活動・研究・事業において顕著な業績を有する個人・組織・事業を称える令和 6 年度「DATA-EX 賞」に長浜市教育委員会が「データ社会推進功労者賞（団体・個人）」部門において表彰されました。表彰理由としては、全国学力・学習状況調査の結果の分析、結果に基づく対策方針の決定、長浜市の課題の洗い出しなどをデータ活用によっておこなっていることを評価され、私が調べる限りでは教育業界において

は初めての受賞であり大変喜ばしく思います。先日、授賞式に教育改革推進室長がオンラインで出席をさせていただきましたことをご報告いたします。

2点目です。教育委員の皆様におかれましては、各校園の運動会にお越しいただきありがとうございました。そして昨日の長浜市陸上記録会には前川委員にお越しいただきました。子どもたちが楽しみながら競技に取り組む姿を見ていただくことができたと思っています。

3点目です。今年の秋も子どもたちが参加しやすい様々な催し物が開催されています。私は、アートインナガハマの日に「すずめの学校」の方々がやっておられる人形劇を見にいきました。たくさんの親子連れで賑わっており非常に盛況であったと思います。私としては、人形劇を観覧している親子の様子を見て親子のつながりなどについて感じたことがあり、教育委員会からも場面に応じた望ましい親子の姿などを発信してはどうかと感じています。そこで、10月1日に運用が開始された「子育て・健康応援アプリ ながスマ」の中にアカウントを作っただき、時間のあるときに読んでいただけるような形で、教育委員会から様々な内容を発信していこうと考えています。委員の皆様もこのアプリをインストールしていただき、記事をご覧いただきたいと思ひますし、委員の皆様から発信したいメッセージ等がございましたら原稿も受け付けたいと思ひますのでご協力の程よろしくお願ひいたします。

5. 議案審議

案件なし

6. 協議・報告事項

(1) 令和6年長浜市議会令和6年9月定例月議会代表質問及び一般質問の答弁要旨について

主な質疑応答は以下のとおり

■松宮委員：

本市における教員不足の実態について、病気休暇や産前産後・育児休業の補充にかかる講師確保について課題があると答弁されていますが、今年度の教員の補充人数について教えてください。

■教育指導課長：

4月段階においては常勤職員について1名補充が間に合いませんでした。この部分については、授業だけを担当する非常勤職員を補充することで、授業については空きのない状態でスタートすることが出来ました。以降は、産前産後・育児休業については前もって取得される時期が分かりますので常勤職員の補充が来ていますが、病気休暇等の急な教員の不足については非常勤職員を補充するなど、まずは授業に支障がないよう努めているところです。

■教育長：

現時点の人数などの状況は把握していますか。

■教育指導課長：

現時点での常勤職員に対して非常勤職員を補充している人数の情報は今持ち合わせていま

せん。

■教育長：

常勤職員に対して非常勤職員を補充し授業だけでもお願いするとなると、学校としては校務分掌が割り振れないため非常に苦しくなっています。

■前川委員：

途中から休まれる先生の理由としては、やはり心の不調が多数なのでしょうか。

■教育指導課長：

心の不調の割合が多くなっていますが、ご病気による方もおられます。

■松宮委員：

将来的に教員が増える見込みが見通せないと思いますので、学校再編などについて、地域の事情はもちろん踏まえつつ、将来の教員数の実情を捉えたうえで、教育していく側の体制が将来的に大きな課題となるという情報も公開されたほうが良いのではないかと思います。

■教育長：

実際に小規模校で教員を補充する必要がある場合には学校は非常に困っておられます。

■押谷委員：

未来を見据えた学校統合についてですが、例として、北部地域の旧3町で1つの学校を作るような再編についての提案があったとのこと。

私は現在、市内の各小・中学校を訪問させていただいていますが、様々な感想の中のひとつに学校間で教育環境の差が非常に大きいと感じています。小規模校であると学び合いや多様な人との交流という点では非常に狭い範囲の経験になってしまうため、一定規模の児童・生徒数とすることの大切さを改めて感じています。教員については、数が少なく急にお休みされたときには授業の補充が本当に大変なようで、教頭が担任の代わりをしておられることもあるという実情もお聞きしました。常勤職員の補充を非常勤職員でされている状況も小規模校が多いのではないかと思いますので、やはり子どもたちのためには、一定規模の学校を作っていくことを考えた方が良いのではないかと改めて思いました。

■教育長：

議員も同じようなことを心配されてご提案いただいたものと捉えております。地域の理解を得られるように教育改革推進室を中心に今しばらく話し合いが必要だと考えています。

7. その他

8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。